

地域コミュニティ形成事業

～ 地域・集落で暮らし続けるために～

■ 幌延町「地域コミュニティ形成事業」とは？

地域・集落の現状 ⇒ 地域・集落力の低下

○「暮らし続けたい…」を阻む要素： 高齢化、人口減少、身体機能低下、不便、雇用 など

●「暮らせないの…」の現状解決法：転出

⇒ 地域・集落機能低下進行の悪循環 ⇒ 限界集落、消滅集落

幌延町が進める集落支援の取組

地域コミュニティ形成事業

目指す姿

「地域運営組織等」が運営する「集落支援センター」

により 地域・集落機能を維持して、

いつまでも暮らし続けられる仕組みの構築

地域コミュニティ形成事業

～ 地域・集落で暮らし続けるために～

地域コミュニティ形成事業

集落支援の「目指す姿」

集落支援センター(もう一つの役場)

※地域と行政の中間的組織

●目的:地域が真に望む機能集約拠点

- ①集落機能を維持して、そこに住みつづける仕組み
- ②肥大化する公共的機能の分業、担い手づくり
- ③地域インセンティブボランティア制度構築

【運営主体・地域運営組織等】

○地域住民自らが主体となって、住民合意形成のもと、各人の役割分担を明確化し、日常生活機能等確保・地域産業機能推進等を持続的に実施する組織

地域住民が参画したNPO等

公共的
機能

集落
課題
解決

集落
機能
維持

～求められる要素～

「住民自治・協働のまちづくり浸透深化」

・5,10,30年後の地域集落にとって、今、必要な

「こと・もの」を自らが整理

・そのために何が必要か、地域自らが考え方行動

<幌延町での各種取組(予定)>

- ・地域行事等への参加による人材連携
- ・集落支援員導入
- ・(おためし)地域おこし協力隊導入
- ・各種研修会、視察等
- ・まちづくりコーディネーター育成事業

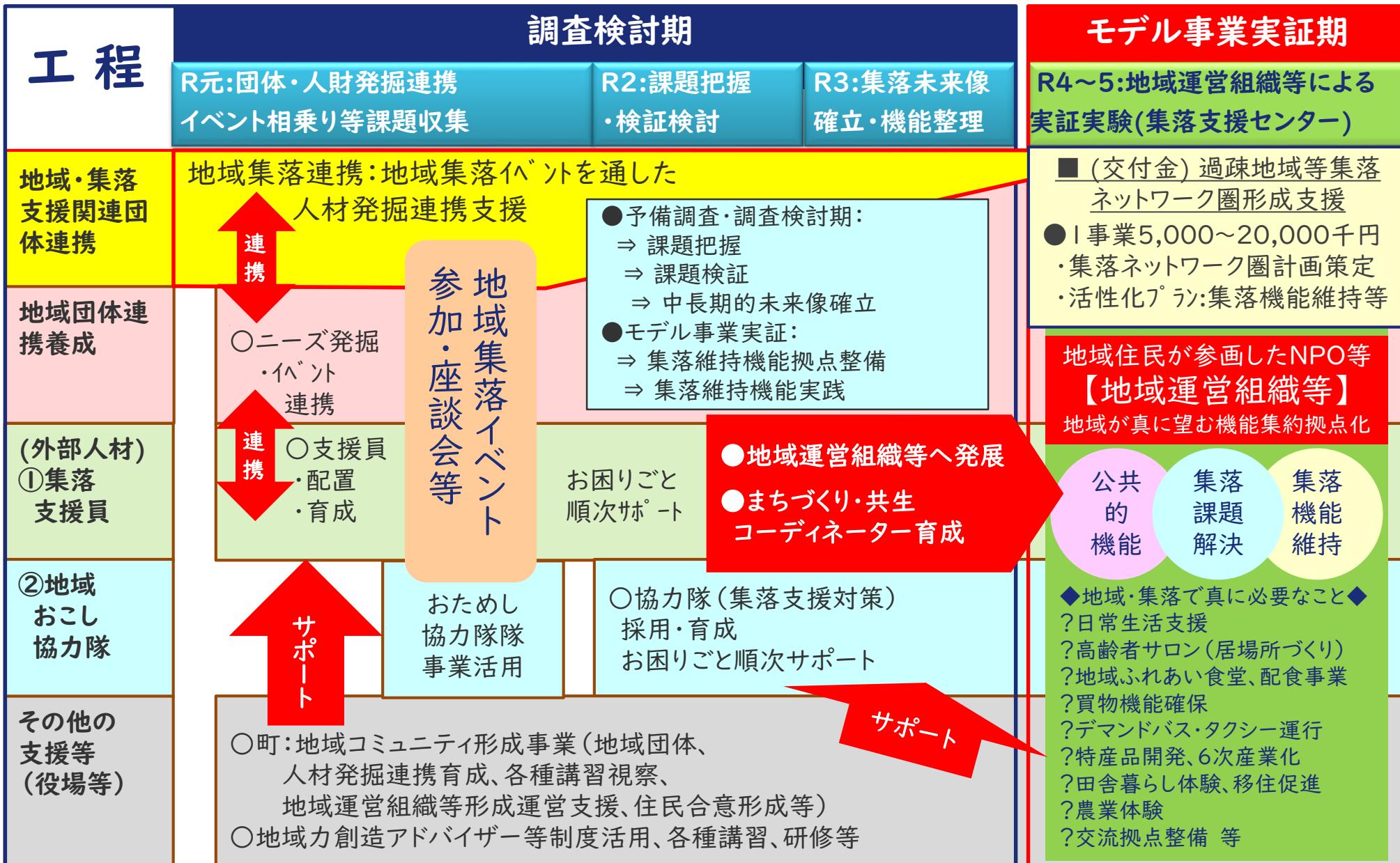
◆地域のお困りごと(課題)把握、検証、整理
⇒地域集落が真に必要とすることって何?

◆地域の中長期的な未来像確立
⇒どんな地域をつくりたいのか?

◆地域集落維持機能実証実験
⇒すぐにでもできることをやってみる!

地域コミュニティ形成事業 全体工程図

～地域・集落で暮らし続けるために～



令和2年度 地域コミュニティ形成事業

～ 地域・集落で暮らし続けるために～

～ 令和2年度「地域コミュニティ形成事業」目標～

- ①地域集落課題把握整理検証、未来像形成準備
- ②「地域おこし協力隊」コーディネーター養成等隊員を中心とした取組展開
- ③地域集落課題即応体制推進
- ④その他

■ 令和2年度計画

- 地域集落課題把握整理検証:アンケート・ヒアリング調査、懇談会…①
 - ・課題収集整理検証、未来像形成準備
 - ・地域集落にとって真に望ましい必要な仕組みの実践方法検討
- まちづくりコーディネーター人材育成プログラム…②
 - ・協力隊員、集落支援員等研修
- 喫緊課題解消サービス提供…②、③
 - ・すぐに取り組める日常生活支援等実践:日常生活支援、地域交通、集い・活躍の場
- 公共的業務、事務事業習熟…②、③
 - ・各施設維持管理業務習熟、事務事業習熟、イベントノウハウ備蓄、市民活動スキル向上等
- 各種構想準備…④
 - ・集落生活圏未来像合意形成準備、地域運営組織等形成準備、コミュニティビジネス検討等

令和2年度 地域コミュニティ形成事業

～地域・集落で暮らし続けるために～

■ 事業役割

(1) 地域おこし協力隊:2名導入(予定)

- ・馴染む:地域を知り溶け込み(活動記録動画作成公開)、コーディネーター研修受講、事務事業、イベントノウハウ備蓄等
- ・地域集落課題収集整理検証:集落支援員等と協力し、住民アンケート・ヒアリング調査、懇談会等実施
- ・すぐに実践可能な集落支援展開:日常生活支援等

(2) 集落支援員:3名配置

- ・地域と協力隊員とのコーディネーター:訪問連携支援、地域行事支援等
- ・地域集落課題収集整理検証:住民アンケート・ヒアリング調査、懇談会等実施
- ・生きがいづくり創出:地域の〇〇名人〇〇教室、野菜マルシェ開設等

(3) 地域コミュニティ形成業務

- ・団体人材イベント等サポート:自立した運営ノウハウの提供支援
- ・市民活動スキルサポート:主催イベント参加型研修、イベント運営の基本、上手な告知等
- ・市民活動サポート:地域集落活動支援

(4) 地域人材ネットワーク形成支援業務

- ・人材育成プログラム展開、集落支援センター組織化支援、地域ビジネスモデル構築等

(5) 地域おこし協力隊マネジメントサポート業務:地域団体

- ・地域運営組織等団体形成育成:協力隊員と地域集落住民を繋ぎ協力体制構築
- ・地域人材団体連携コーディネート:各種団体等会合参加、訪問連携支援等
- ・各種事業運営支援、日常生活支援等サポート:行事等参加サポート、すぐに実践可能な集落支援サポート

(6) 地域づくりプラン形成業務

- ・「持続可能な農村集落の維持・向上対策手法確立」に向けた調査研究

(7) その他

- ・各種研修、先進地視察、実例研究等

令和2年度 地域コミュニティ形成事業・運営体制

～地域・集落で暮らし続けるために～

■事業総括：幌延町企画政策課

- ・事業方針計画等策定
- ・事業進捗管理：調査、試験、計画、実施、検証、改善

地域おこし協力隊

- ・地域を知り溶け込む
- ・研修等受講、事務事業習熟
- ・イベントノウハウ備蓄
- ・懇談会イベント等開催
- ・課題解決実証実験

各種研修講習受講等

- ・アンケート作成、ヒアリングスキル講習
- ・実例研究
- ・先進地視察
- ・市民活動スタッフ養成講座
- ・協力隊研修 等

日々の伴走型支援

地域おこし協力隊マネジメントサポート業務 (地域団体)

- ・地域運営組織等団体育成：隊員と地域集落とのパイプ役
- ・地域人材団体連携コーディネート：会合等参加、訪問連携支援等
- ・各種事業運営支援、日常生活支援等サポート

集落支援員

- ・協力隊員サポート
- ・課題把握：アンケートヒアリング 調査
- ・地域集落生きがいづくり創出

事業連携

事業連携

育成支援

全体構想・計画策定支援

- ・全体調整、政策プロセス、計画策定等プロデュース支援

地域コミュニティ形成業務

- ・地域集落イベントサポート
- ・主催イベント参加型研修
- ・市民活動サポート：イベント運営、告知

地域づくりプラン形成業務

- ・地域運営組織形成支援
- ・生活サービス(交通システム等)運営支援
- ・持続性に資する収益事業構築支援
- ・高齢者見守り、健康支援システム開発検証
- ・共助制度化 等

地域人材ネットワーク形成支援業務

- ・人材育成支援：地域集落コーディネーター養成講座
- ・地域運営組織等組織化支援
- ・地域ビジネスモデル構築支援

連携

幌延町地域おこし協力隊活動内容

～ 集落支援事業「地域コミュニティ形成事業」集落・地域で暮らし続けるために～

目指す姿：「地域運営組織等」が運営する「集落支援センター」により
地域・集落機能を維持して、いつまでも暮らし続けられる仕組みの構築

◎地域おこし協力隊 活動分野：集落支援センター担い手・地域とのコーディネーター

集落支援センター（もう一つの役場）

●目的：地域が真に望む機能集約拠点

- ①集落機能を維持して、そこに住みつづける仕組み
- ②肥大化する公共的機能の分業、担い手づくり
- ③地域インセンティブボランティア制度構築

◆地域・集落で真に必要なことを整理し提供（未来）◆

?日常生活、配食、買物支援	?特産品開発、6次産業化支援
?移動サロン・食堂（居場所づくり）	?田舎暮らし体験、移住促進支援
?デマンドタクシー（地域交通）	?交流・生活拠点整備 等

運営主体：集落（NPO等）「地域運営組織等」形成

※地域と行政の中間的組織



◆地域集落課題収集によりすぐにでも実践したい 活動分野◆

●集落支援活動

地域交通実験（地域の足）、
移動サロン等（居場所づくり）、
野菜マルシェ（生きがいづくり）、
集落ニーズアンケートヒアリング 調査

●地域行事参加サポート

祭り、盆踊り、運動行事、オーナー^{ション}、文化祭、学校行事、老人クラブ、料理教室、配食、各団体サポート

●日常生活支援

草刈、除雪、買物、小修繕、山菜採り、畑仕事、ごみ捨てなど

●町事業等

地域活動記録動画作成公開、公共的事業支援（協力隊・集落支援員事務、施設管理、駅管理）、人材育成講習受講など

幌延町地域おこし協力隊・週間計画(案)

～地域・集落で暮らし続けるために～

■活動拠点：幌延町字問寒別

・活動日数：週休2日制（原則8:30～17:15）

・活動スケジュール：役場職員（純14h※18h）、委託（純9h※11h）、自己活動（16h程度）

曜日	月			火			水			木			金			土	日
午前	ミーティング等(直・委)			自己活動			自己活動			自己活動			直営支援			休日	
	役場	隊員	受託		隊員			隊員			隊員			役場	隊員		
	1h	1h	1h*2		3h			1h			1h			3h	3h		
	直営・委託支援						委託支援			委託支援							
	役場	隊員	受託					隊員	受託		隊員	受託					
	2h	2h	2h					2h	2h		2h	2h					
午後	直営支援			委託支援			自己活動			自己活動			直営支援				
	役場	隊員			隊員	受託		隊員			隊員			役場	隊員		
	4h	4h			1h	1h		4h			4h			3h*2	3h		
				自己活動									ミーティング等(直・委)				
					隊員									役場	隊員	受託	
					3h									1h*2	1h	1h*2	
備考																	

※あくまで例です。土日の活動も多少あります。

地域コミュニティ形成事業・年度計画（案）

～地域・集落で暮らし続けるために～

集落支援員活動について

～令和2年度 集落支援活動運営事業～

集落支援員（総務省）：地域事情に精通し、集落対策推進ノウハウ知見を有した人材が、自治体の委嘱を受けて、市町村と連携し、集落への「目配り」（巡回、状況把握等）実施

○地財措置：専任・特交3,500千円／人（自治会長等兼任は400千円／人）

～支援員設置（報酬・旅費・消耗品・備品等、集落点検、話し合い等実施経費）

□ 幌延町集落支援員制度：集落支援センター運営担い手づくり

●目的（R元）：集落支援に向けた地域個人・団体連携、人材発掘・育成サポート

- ・地域コミュニティ形成事業サポート、地域団体等サポート
- ・地域集落ニーズ等調査把握
- ・おためし協力隊サポート、次年度以降地域おこし協力隊活動内容積み上げ
- ・まちづくりコーディネーター等講習受講、地域おこし協力隊卒業後の継続的集落支援受皿

●目的（R2年度～）：

- ◆地域集落行事をサポートしつつ、住民個別課題の把握と協力隊員と住民とのコーディネート
- ・地域集落アンケート、ヒアリング調査：個別課題把握、人脉連携構築
- ・集落点検、住民懇談会等開催支援：課題把握検証、集落未来像形成準備
- ・高齢者生きがいづくり：地域の〇〇名人探して〇〇教室開催
- ・地域おこし協力隊サポート：円滑な地域集落活動コーディネート支援
- ・地域おこし協力隊員卒業後受皿：継続的な集落支援の担い手化支援 等